

# ACOPT 38

オプション LEAP – 音響パラメータに基づいた Listening Effort 予測

Code 6871

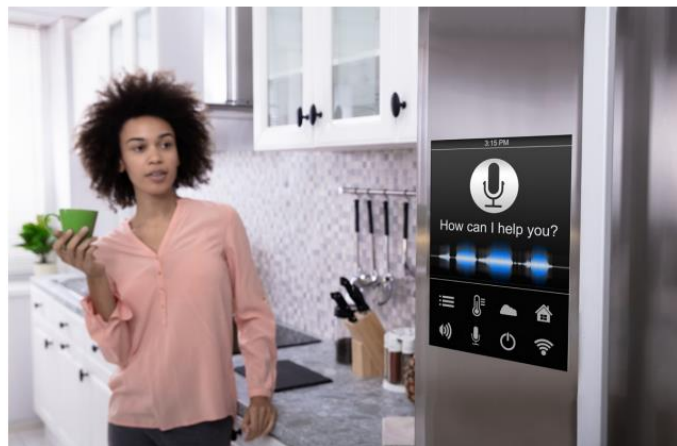
## 概要

### 概要

参照信号が利用できない音響テストシナリオにおいて、音響パラメータに基づいた Listening Effort 予測ツール (LEAP) は、劣化音声信号の Listening Effort を予測する為のシングルエンド・アルゴリズムです。LEAP は Fraunhofer IDMT-HAS が開発したソフトウェアソリューションで、音声信号の Listening Effort を、1~14のスケールで評価します。1は「全く努力を要さない」を表し、14は「ノイズのみ」を表します。このアルゴリズムは、予測計算の為に録音音声信号のみを必要とし、クリーン参照信号は必要としません。

### アプリケーション

LEAPは、クリーンな音声信号が利用できない状況で、スマートスピーカーの合成音声、車載ナビゲーション、テキスト読み上げエンジン等の知覚に基づいた Listening Effort を評価します。さらに、LEAP はクリーンな音声信号が技術的には利用可能ではあるが、駅や空港のスピーカーから鳴るアナウンスなど取得が非常に困難な場合にも適しています。

# 概要

## 主なフィーチャー

- > 知覚に基づいた Listening Effort の評価
- > 14段階の評価スケール

## アプリケーション

- > スマートスピーカー
- > テキスト読み上げエンジン
- > 車載ナビゲーションアシスト
- > アナウンスシステム
- > 実車走行中の実際の会話

## 要件

### ソフトウェア

以下のソフトウェアアプリケーションのいずれか：

ACQUA (Code 6810)

- > 高度通話品質分析ソフトウェア、フルライセンス版

ACQUA Compact (Code 6860)

- > コンパクトテストシステム

## 納品アイテム

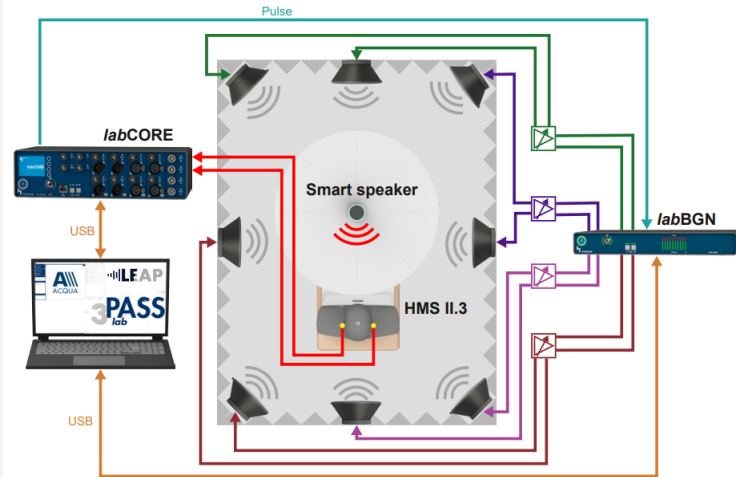
ACOPT 38、LEAP (Code 6871)

- > ACQUA ドングル用V2Cファイル

# 実例

## アプリケーション例：スマートスピーカー

スマートスピーカーは合成音声を再生します。同時に、3PASSlab はバックグラウンドノイズを再生して音声信号を妨害します。HMS II.3は耳に搭載したマイクで劣化音声信号を受信します。labCORE は HMS II.3 からACQUA PCに劣化音声信号を転送します。ACQUAはLEAPアルゴリズムを適用して劣化音声信号を分析し、Listening Effort 予測を計算します。



### お問い合わせ

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134  
横浜ビジネスパークウエストタワー 8F

電話： 045-340-2236  
Eメール： [headjapan@head-acoustics.com](mailto:headjapan@head-acoustics.com)  
ウェブサイト： [www.head-acoustics.com](http://www.head-acoustics.com)